

お客様各位

株式会社プロマーク技術部

## ProSacr for Mailserver のアップグレードについて

日頃は、ProScan for Mailserver のご利用誠にありがとうございます。この度、ウイルススキャンエンジンであります、ドイツ Avira 社の SAVAPI が 4.10 へのアップグレード致しました。既に SAVAPI4.10 へのアップグレードを実施して頂いたお客様のうち、以下のようなお客様へのご案内となります。

**LinuxOS の 32bit 環境でご利用中のお客様**

**または**

**LinuxOS の 64bit 環境にも関わらず savapi4 が 32bit 版となっているお客様**

バージョンは以下のコマンドで確認可能でございます。

```
# /usr/lib/AntiVir/savapi -V
Product build:      Linux (i386, glibc 2.2)
SAVAPI service version: 4.10.0.280

Component versions:
SAVAPI library version: 4.10.0.280
Engine version:      8.3.52.148
Packlib version:    8.4.3.24
VDF version:        8.15.15.212
APC library version: 2.10.0.82
```

このようなお客様は大変申し訳ございませんが、再度のアップグレードをお願い致します。

アップグレードスクリプト内でのバージョン判定に問題があったのと一部のモジュールに不備がございました。(現状のままでは VDF のアップデートに失敗しております。)

以下手順に従いアップグレードをお願い致します。

### 1. アップグレードツールダウンロード

以下の URL よりツールをダウンロードします。

[http://update.promark-inc.com/savapi4/upgrade\\_linux.sh](http://update.promark-inc.com/savapi4/upgrade_linux.sh)

ダウンロードしたファイルは、アップグレードを行うサーバ上に適当なディレクトリを作ってそこに置いて下さい。(例として、/tmp/savapi4 というディレクトリでの作業とします)

```
# cd /tmp
# mkdir savapi4
# cd savapi4
# wget http://update.promark-inc.com/savapi4/upgrade\_linux.sh
# ls
upgrade_linux.sh
```

※Proxy 利用環境では、ダウンロードしたスクリプトの 28 行目から 33 行目の Proxy 設定を行ってから実行するようにしてください。現状はコメントとなっていますので、設定後、コメントを外してから実施をお願いします。Proxy 認証を利用していない場合には PROXY\_USER,PROXY\_PASSWD はコメント

のままとしてください。(etc/wgetrc に設定している場合には自動で Proxy 設定されます。)

## 2. ツールの実行

ファイルをダウンロードしたディレクトリへ移動し、ツールの実行を行います。既に savapi4 にアップグレードされているためそのままの実行ではアップグレードできませんので、必ず「force」オプションを付けてください。

```
# cd /tmp/savapi4
# sh upgrade_linux.sh force
:
:(実行中のメッセージが表示されます)
:
#
```

最新のバージョンまでアップデートされ、savapi の再起動も行われます。

以上で完了です。バージョンを確認して頂き、本来お使いの環境にあっているかどうかを確認してください。また、VDF アップデートが正しくできるかどうか確認をお願い致します。

以上